

平成29年度事業計画

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

一般社団法人 東京鞆協会

1. 方針

東日本大震災から6年がたち復興もまだ道半ば。昨年は、熊本地震や大型台風など自然災害が多発し、日本銀行のマイナス金利政策の影響も出る中、世界ではイギリスのEU離脱やアメリカのトランプ政権などまさかの出来事が立て続けに起きて、日本の経済に今後どのように係って来るのか先行きが不安定な状況です。

こうした中、本年度は、「東京かばん技術コンクール」の開催、定期事業である「信頼のマーク」PR事業を展開し、PRキャンペーンイベントを開催致します。

また「日本鞆ハンドバッグ協会」においても、第7回目となる技術認定試験の実施、ジャパンプランド調査事業も引き続き展開していきます。

このように、協会としてさらなるかばん産業の振興、発展に努め、生活者の求める豊かな生活文化の創造に寄与していくとともに、会員各位の交流を親密にし、組織の運営と活性化を進めていきます。

1. 鞆産業の振興事業に関する指導及び協力

- (1) 「日本製かばん」信頼のマークの表示を行います。
 - ① 日本製かばんの優秀性と価値観を社会にアピール致します。
 - ② 日本製かばんの存在と責任の所在を明確に致します。
- (2) かばんの販売促進PRを行います。
- (3) 海外市場及び東京製商品の普及宣伝に関する事業
 - ① 内外で開催される国際見本市の調査並びに情報の収集

2. 家庭用品品質表示法の規定による鞆の品質を表示する事業に関する指導及び協力

家庭用品品質表示法に基づく皮革製かばんの品質表示のPRと消費者にレザーマークの信頼性を高めるとともに、鞆業界の振興発展に努めます。

3. 鞆産業における技術振興、人材育成等に関する講習会、研修会等の開催

(1) 人材育成と人材確保に関する事業

- ① 組合役職員及び中小企業経営者等を対象とする経営セミナー等の開催

4. 鞆に関する技術及び品質の向上を図るためのコンクールの開催並びに展示会による東京製品の普及及び啓発

(1) かばん技術コンクールに関する事業

かばん作りは、優れた技能により生産されたものが生活文化の中で生まれ、受け継がれてきました。「かばん技術コンクール」は優秀な技術者を育成し、技術のレベルアップと企画、デザイン開発を促進し、創作意欲の向上に努め、東京製かばんの優秀性をアピールするとともに、新分野における販路の開拓と拡張に資することを目的に開催致します。

5. 鞆産業に関する情報の収集及び提供

(1) P L法の対応と団体保険制度に関する事業

製造物責任法に基づくP L法対策とP L保険（損保会社）団体契約を締結し、鞆業界独自のP L保険制度の加入と普及促進に努め、商品の安全性等取扱説明書（注意）に基づいて、会員企業経営の安定のために事業を行います。

- ① 未然防止対策
- ② P L相談
- ③ 事件事例の発表
- ④ 勉強会等

(2) 教育及び情報の提供に関する事業

- ① 国、東京都、公共団体等で発行する関係図書を配布致します。
- ② かばん類に関する海外市場動向調査と資料の分析を行います。

6. 会館の管理及び運営

鞆会館のテナントの整備と施設利用者の利便を図るための運営強化とその充実を確保致します。

- ① 多目的ホール使用要綱により、利用者の拡大と普及促進を図ります。
- ② テナントの環境整備と相互扶助の精神をもって交流を深めます。

- ③ ソフトドリンク等の自動販売機の管理を行います。
- ④ F A X、コピー等の事務代行を行います。

7. 会員の従業員等の福利厚生に寄与する事業

- (1) 会員、家族、従業員の福利促進のため慰安会等を行います。
- (2) 団体保険、火災・生命共済の他、自動車共済保険等損害保険の各種制度の普及とその加入促進を行います。

8. 関係各機関との連絡及び協調

- (1) 国、東京都、地方公共団体との連絡と周知を行います。
- (2) 皮革産業団体とタイアップを図り活性化に努めます。
- (3) ハンドバッグ業界とタイアップを図り活性化に努めます。
- (4) 関係交友団体とタイアップを図り活性化に努めます。
- (5) 関係機関に対し、要望、陳情を行います。
- (6) 異業種との交流と融合化を進めて参ります。

9. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) 鞆業界とハンドバッグ業界のコラボレーション活動を通じて、ノウハウを共有し業界内外（行政・販売店・消費者など）に、より強固かつ積極的な活動を展開して行きます。

以 上